

別紙3

年末年始を静かに過ごすお願い

我々の社会は新型コロナウイルス感染症が流行してから初めての冬を迎えることとなります。

年末年始は我々の社会にとって特別な時期です。特に、半年以上、つらい思いをされてきた多くの皆さんは、年末年始こそは、お酒を酌み交わし、親族や親しい友人たちと旧交を温めたいと考えていると思います。

しかし、年末年始に人々の交流を通じて感染が全国的に拡大すると、さらに医療が逼迫し、結果的に経済も大きな打撃を被ります。

命と暮らしを守るためには、社会を構成する一人ひとりが年末年始を静かに過ごすことが求められます。

(第18回新型コロナウイルス感染症分科会の提言より)

1 忘年会・新年会

特に大人数での忘年会・新年会は開催を見送り、オンラインでの開催等を検討してください。

忘年会・新年会を実施する場合であっても、なるべく普段から一緒にいる人と少人数（「4人以下の単位」を基本）で開催することが大切です。その上で、

- ・ ガイドラインを遵守している飲食店を選ぶ。
- ・ 体調が悪い人は参加しない。
- ・ 座の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）。
- ・ 会話する時は必ずマスクを着用。
- ・ 短時間で、深酒やはしご酒などは控え、適度な酒量で。
- ・ お猪口やコップは使い回さず、一人ひとりで。

といった「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」をお願いします。

2 年末年始の帰省

年末年始に、多くの人が帰省をお考えになっているかと思いますが、帰省する場合には、三密回避を含め基本的な感染防止策を徹底するとともに、特に大人数の会食を控えるなど、高齢者等への感染につながらないよう注意をお願いします。

そうした対応が難しいと判断される場合は、帰省について慎重に検討いただきますようお願いいたします。特に、発熱等の症状がある方などは、帰省を控えてください。

帰省される場合には、年末年始の休暇を分散して取得するなど、混雑する時期を避ける、または延期する等、慎重に検討してください。

3 カウントダウンイベントなど

年末年始のカウントダウンイベント等についても、基本的な感染防止策の徹底をお願いします。

主催者の方は、適切な雑踏警備等を検討してください。適切な行動管理が難しいと判断する場合には開催自粛や、オンラインを活用した形とするなどの対応をお願いします。

4 初詣

初詣については、混雑する時期を避けていただくようお願いします。境内での三密や、参拝後の混雑をできる限り避け、基本的な感染防止策（マスク着用、手指消毒など）を徹底してください。その上で、以下にも気をつけましょう。

(1) 混雑防止、適切な対人距離の確保

- ・ 神社仏閣や周辺の駅等において、混雑状況の周知が行われている場合があります。お出かけ前に確認し、できるだけ密を避けましょう。また、お出かけの日時をずらすなどもご検討ください。
- ・ 適切な対人距離の確保をお願いします。係員等の誘導がある場合は、それに従ってください。

(2) 境内での飲食や食べ歩きは控えめにし、なるべく持ち帰りましょう

(3) 大声は控えましょう

(4) お出かけ前に接触確認アプリ（COCOA）をインストールしましょう

5 成人式

成人式は、多くの新成人が久しぶりに地元集まる機会です。しかし、この機会は「三密」や「感染リスクが高まる「5つの場面」」が生じやすい機会でもありますので、次の点について注意しましょう。

(1) 主催者の方へ

- ・ 参加人数の制限。
- ・ 会場での飲食を控えることの徹底。
- ・ 会場での感染防止策の徹底（マスクの着用、手指消毒など）。
- ・ オンラインを活用した形での開催や開催時期、時間の分散化等も検討。

(2) 参加者の方へ

- ・ 体調が悪い人は参加しないこと。
- ・ 会場やその周囲では密集をしないこと。
- ・ 式典の前後には飲食を控えること。
- ・ 仮に飲食をする場合には上記の忘年会・新年会の工夫を参照。